

第44回全国デイ・ケア研究大会2022 in 奈良

大会を創り上げたメンバーからのコメント

実行委員長 西田 宗幹

大会のテーマは「和を以って、デイ・ケアを為す。～自立支援のコーディネーターとして～」。デイ・ケアにおいて、かかわる全ての職種、サービス提供者と議論をして、利用者さんの自立支援の実践に取り組もうという思いや、「平和」、参加者の「和(なごみ)」という意味も込められています。その為、会場も「奈良」を感じられる会場を、おもてなしとして、有名な「ほうせき箱」のかき氷のふるまいや、庭園を利用した懇親会を企画しました。490名を超える参加登録と約200名の現地参加、90を超える一般演題発表となり、徹底した感染対策も実り感染者を出すこともなく大会を終えることができました。多くの参加者の方から「記憶に残る大会」等お褒めの言葉をいただき、とても思い出深い大会となりました。



運営局長 東條 秀則

今回の開催形式となり、具体化に当たって検討・調整が継続する設定等が少なくなかったです。その為マニュアル作成等も後手の傾向となってしまう、何とか無事開催できて胸をなでおろしています。今回の大会は主幹の当法人に加え、県下5施設の協力を得て運営に当たらせていただきました。他施設の方にとっては半ばぶっつけ本番に近い場合もありましたが、皆さま非常に協力的・積極的に任に当たって下さりありがたかったです。



学術局長 山本 江吏子

大会の「色」となる特別講演、セミナー等の運営に携わり、テーマを念頭に、様々な講師をお招きしました。また、利用者視点を目的とし、老い支援コーディネーターや認知症当事者の方にもご講演いただきました。一般演題では北海道から九州まで多くの演題登録をいただきました。改めて「人と人」「事業所と事業所」の交流が重要であること、その手段に研究大会があることを学びました。



事務局長 福本 美和

奈良県内の老健を開催地特別枠として設けて頂きました。事務局員は、老健を訪問して説明を行い、参加登録や演題発表の方法をPRする役割を担いました。また、大会ホームページ、大会プログラム集、大会全般の管理など、参加者目線のおもてなしができる方法を模索しました。多くの方の力をお借りして、とても感謝しております。



大会ホームページ、後援、広報、物品管理 植田 隆敏

大会ホームページや後援依頼を担いました。当日は、一般演題視聴ルームを担当し、来場数は、予想を上回る数でした。「演者に質問したい」といった声もあり、情報交換や交流のニーズ・重要性を改めて実感しました。



広報、大会プログラム集作成 岡野 将大

大会当日は、講師の誘導を担いました。また大会プログラム集の制作をしましたが、手探りの状態で、多くの方に手助けをしてもらい、よいプログラム集が完成したと思っています。



参加登録、収支管理 松本 さおり

一般的な大会窓口を担い、当日は、講師の接待をしました。奈良で大きな大会ができ感動しました。



演題募集、アンケート 川上 将平

当日は、演題発表ブースを担いました。配信業者や新入職員のご協力もあり、大きな問題なく終了となりました。



救護、感染対策 松原 奈津子

当日は受付で体調確認を担いました。初日はとても高い気温でしたが、体調不良者は出ることなく終わったことに喜びと皆さんとできたことに感謝しています。



感染対策 山本 圭剛

感染のアナウンスCDを作成し、会場内でリピート再生しましたが、もう少しバリエーションがあっても良かったかなと思います。感染予防用のタスキは、手作りで、他施設から好評でした。



感染マニュアル、会場運営 山中 美里

当日、一般演題用PCブースのリーダーを担当しました。大会長らと一緒に大会を作り上げたことは、とてもいい経験になりました。



司会 都築 尚子

第一会場の司会と懇親会の司会を担いました。多くのスタッフが関わって、積み上げてきたことを考えると、当日失敗するわけにいかないととても緊張しました。



演題募集 福岡 拓也

演題募集から始まり、当日は一般演題PCブースでオンライン発表と現地発表という新しい形でしたが、チームワークが良く、全ての発表を滞りなく行う事ができました。



広報 近藤 大樹

当日は、一般演題PCブースを担い、他施設のボランティアや病院の職員の方と良いチームワークの元、PCブースが運営できました。



広報、看板 福岡 真穂

他施設訪問や電話など広報や看板作成を担当し、当日は、参加受付や金銭管理をしました。準備や当日は大変でしたが、大会を終えた今は達成感でいっぱいです。



会場運営 窪 啓輔

準備期間中から大会長、各局長の大会への熱量がもの凄く、その想いについていくつもりで取り組みました。当日も各スタッフの方に助けて頂き、大会運営という非常に良い経験をさせて頂きました。



会場運営 清水 明美

当日は、総合受付を担い、参加者に気持ちよく参加して頂けるよう心掛けました。スタッフの素晴らしさを改めて知る機会となり、貴重な経験となりました。



広報 笠松 宏記

事務局では、全国のデイケアへ訪問や電話にて大会開催の案内をさせて頂きました。皆さんからは労いの言葉や、大会当日現地にて連絡を取らせて頂いた方からお声掛け頂く等、大会を通して多くの事業所の方々と繋がりをを感じる事が出来ました。



当日運営協力をしてくださった会員施設

- (社福) 長和福祉会 ころ上牧
- (医) あすか会 アンジェロ ハビリス
- (社福) 正和会 ルポゼまきの
- (医) 宮城会 けやき倶楽部

皆様、ありがとうございました。